

別 紙

質 問 回 答 書

質問年月日 令和 2年12月 7日

工 事 名		重要文化財 函館ハリストス正教会復活聖堂 保存修理工事	
質 問 事 項		回 答 事 項	
No. 1	内訳明細書 1 1 除雪費は人力除雪と考て宜しいでしょうか。ご指示願います。	人力による除雪を想定しています。	
No. 2	内訳明細書 1 1 交通誘導員の人数記載がありませんが、必要人数を記入するとして宜しいでしょうか。ご指示願います。	除雪範囲・期間を基に必要な人数を想定してください。	
No. 3	A-5、A-65、内訳明細書9 聖障工事の専門業者をご指示願います。	昭和修理時に作業を行った「修復研究所 21（東京都）」など、専門知識・技術・経験を有した専門業者・専門家としてください。	
No. 4	A-5、A-65、内訳明細書9 花ござのメーカー及び専門業者をご指示願います。	昭和修理時に作業を行った「岡捺染加工所（倉敷市）」など、指定する柄・色で花ござ製作が行える専門業者としてください。	
No. 5	A-4 床下の防腐剤塗布において、床点検口などはあるのでしょうか。ご指示願います。	聖堂側面の基礎部分にある換気口の一部から床下へ入れます。	

回答年月日 令和2年12月7日

別 紙

質 問 回 答 書

質問年月日 令和 2年12月 7日

工 事 名		重要文化財 函館ハリストス正教会復活聖堂 保存修理工事	
質 問 事 項		回 答 事 項	
No. 6	A-5 特記仕様書3において、塗装工程に4割ラックスとありますが、どのようなものかご指示願います。	昭和修理時の材料・仕様になります。同じもので行えない場合は、同等の材料で試験施工を行って決定します。	
No. 7	A-5 特記仕様書3において、スーパーワニスとありますが、弱溶剤のものと考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	特記はスーパーワニスの誤記でした。昭和修理時の材料・仕様になります。油ワニスに分類されますので、適当な溶剤を用いた施工計画を策定してください。	
No. 8	A-52 外部漆喰壁吸水防止剤塗布とありますが、「レッカノン-M」等を使用すると宜しいでしょうか。ご指示願います。	昭和修理時には「アロンウォーターシャット（東亜合成化学）」を使用。同品または同等の性能を有した吸水防止剤であれば可としますが、試験施工を行って決定します。	
No. 9	A-5 内部漆喰既存壁化粧直し材「カゼイン塗料」は、剥離剤を使用しなくても塗膜を剥がすことのできる材料と考えて宜しいでしょうか。	昭和修理時にはカゼインに胡粉を配合した水溶性塗料が用いられているので大部分は剥離剤まで必要ないと考えていますが、それ以降に補修された部分があれば剥離剤等が必要になる塗料が使われている可能性もあります。現況を確認してから実施してもらうことになります。	
No. 10	A-5 特記仕様書3において、調合下塗りプライマーとありますが、どのようなものかご指示願います。	昭和修理時の材料・仕様になりますが、木部塗装の素地調整として適当な材料・仕様で施工計画を策定してください。	

回答年月日 令和2年12月7日

別 紙

質 問 回 答 書

質問年月日 令和 2年12月 7日

工 事 名		重要文化財 函館ハリストス正教会復活聖堂 保存修理工事	
質 問 事 項		回 答 事 項	
No. 11	S-3	基礎躯体工事 煉瓦壁下地盤防止対策にて地盤事前調査試掘、地盤薬液注入とありますが、工法・仕様等の記載がありません。着工とともに試掘を行い、それによって決定することでしょうか。ご指示願います。	
No. 12	S-3、S-6	躯体直下の基礎施工要領とありますが、既存基礎深さH500の下層地盤はどのような状況でしょうか。こちらも事前調査を行って確認すると宜しいでしょうか。ご指示願います。	
No. 13	上記質疑番号10・11の調査・地盤改良期間も含まれた工期設定となっているのでしょうか。ご指示願います。	事前調査等を含んだ工期設定としていますが、調査結果によっては協議したいと思います。	
No. 14	S-3、S-6	躯体直下の基礎下の掘削及び既存基礎下端部分の穿孔においても大変な基礎の崩壊リスクのある作業と思われます。既存基礎下端を穿孔しないで、新規基礎を設けることができる方法などはないのでしょうか。ご指示願います。	

回答年月日 令和2年12月7日

別 紙

質 問 回 答 書

質問年月日 令和 2年12月 7日

工 事 名	重要文化財 函館ハリストス正教会復活聖堂 保存修理工事	
質 問 事 項		回 答 事 項
No. 15 S-3、S-6 薬液注入30mとありますが、これは延長ですか。深度ですか。ロ・イの矢視図の周りに薬液注入をするのかと思いますが、具体的な図面はありますか。ご指示願います。	延長の数量です。具体的な図面はありませんが、掘削部分の周囲地盤面に必要に応じて薬液注入を行うことを想定しています。	
No. 16 S-6 その周辺のわかる柱状図はありますか。	別添資料（耐震診断報告書抜粋）を参照してください。	
No. 17 A-21～A-23 仮設足場、素屋根計画について、壁つなぎが取れない状況での本計画において、風荷重・風圧力を検討し、NGとなった場合、素屋根の取止め、更には、白シートからメッシュシート、垂直ネットに変えて、風の抵抗を抑えることになると思われますので、臨機に対応ということ为宜しいでしょうか。ご指示願います。	銅板屋根の解体を行うため、素屋根（常時の仮屋根）は望ましいが、仮設足場の安全上・施工上の理由から不可能となった場合は、屋根面の雨養生をしっかりと行うことを前提に、実施可能な仮設工事の施工計画を策定していただき、監督員から承認を得られるものであれば可とします。	
No. 18 S-6 構造補強工事（基礎補強）が、スムーズに進めることができるか懸念されます。基礎補強が終わらなければ必然的に後工程にも影響（足場に絡む全作業）することになります。状況次第では工期の延長もありえるのでしょうか。ご指示願います。	まずは契約工期内で竣工させるように工程計画を策定し実施していただくことが第一ですが、試掘の結果等も踏まえて工期に影響を及ぼす事案があった場合には、協議とします。	

回答年月日 令和2年12月7日